

## 会 議 録

会議名	令和5年度 第4回田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話042-761-0056 (直通)		
開催日時	令和5年9月12日(火) 19時00分～20時10分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 子どもを対象とした事業(イベント)について ア 相模田名民家資料館イベントの報告 イ 田名っ子フェスティバルについて ウ 地域活性化事業交付金について (2) 田名地区における「移動支援」の取組について (3) その他 4 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(◎は会長の発言、○は委員の発言、■は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 あいさつ (代田会長)

### 3 議題

次のとおりグループ編成をした。

※敬称略

#### 【A班】

花房 博文 (自治会連合会)

藤橋 和代 (連合婦人会)

田所 恒男 (社会福祉協議会)

木下 英雄 (青少年健全育成協議会)

小島 昭二 (老人クラブ連合会)

矢口 君代 (田名地域包括支援センター)

#### 【B班】

安部 和博 (自治会連合会)

大谷 政道 (田名公民館)

田所 直久 (民生児童委員協議会)

田所 昌訓 (田名財産管理委員会)

大谷 靖臣 (防犯協会)

平井 佑介 (田名小学校PTA)

大谷 京子 (市農協理事)

#### (1) 子どもを対象とした事業 (イベント) について

##### ア 相模田名民家資料館イベントの報告

相模田名民家資料館を活用したイベント (令和5年8月18日 (金)) の開催結果の報告を事務局から行った。

##### (主な意見等)

○相模田名民家資料館を活用したイベントについては、田名財産管理委員会で過年度から予算計上していたが、具体的な取組まで至らなかった。今回初めてイベント開催できたことは良かった。12月には公民館こどもまつりがあって、その日に相模田名民家資料館でも何か催しをして欲しいという話が公民館からあり、何ができるかを今後検討する。これらのような取組を何とか単発ではなく定例化していきたい。(田所 (昌))

##### イ 田名っ子フェスティバルについて

田名っ子フェスティバルについて、田名小学校PTAからまちづくり会議に参加意向の確認があったため、委員の意見を伺うことになった。

(主な意見等)

◎同日の午前中に田名北小学校イベントに参加するが、午後の田名小学校イベントにも協力していくことで役員会では話を進めたが、何か意見等あるか。

○昨年に続き、地域の皆様と連携した形で開催したいと考えている。地域との連携というのは昨年から始めたことで、田名小学校PTAとしては初めての取組で不安もあったが、今年の田名北小学校や新宿小学校のイベントにも同じような取組が広がっていることを思うと昨年開催して良かったと思っている。また、開催に際して校長からは児童の自主性を伸ばすような取組にして欲しいと言われている。これらのことから、PTAの思いとして「地域の活性化」「自然を守る」を掲げて、田名っ子フェスティバルを開催したい。ただし、準備期間も短いことから、地域活動団体の皆様が出来る範囲で協力していただければと思う。(平井委員(田名小PTA))

◎役員会での案は「バルーンアート」と「自転車シュミレーター」である。その他何かあるか。

(委員からの意見等なし)

◎明日以降でも何かあれば事務局に連絡してもらいたい。また、役割分担等は次回会議でお示しする。

ウ 地域活性化事業交付金について

申請者(田名地区まちづくり会議地域活動促進部会 花房会長)及び事務局から、案件に係る内容の説明を行った。また、田所(恒)委員から、けん玉の名人(精神保健福祉の普及を目指している山田龍氏)を田名北小学校ふれあい広場に呼びたいと申し出があり、その謝礼分の増額についても合わせて意見を伺った。

<申請案件>

地域活動促進事業

<意見等>

なし

(2) 田名地区における「移動支援」の取組について

事務局より、資料に沿って、市内での事例(※)や制度について説明した。各班の主な意見等は次のとおりである。

※高齢者移動支援推進モデル事業成果報告会(令和5年3月22日開催)資料から抜粋した外出支援事例

(各班の主な意見等)

**【A班】**

- 自治会長個人に頼るような買い物支援では継続しない。組織化しないといけない。
- 田名では水郷田名地域（滝、水郷田名、水郷田名団地自治会区域）が最も切実ではないか。他地区で試験運行しているグリーンスローモビリティを走らせることはできないか。ただし、既存商店等との地元調整は丁寧に行わなければならない。
- 自分が運転できるうちは地域のために移動支援に協力したいという気持ちはあるが、やはり個人に頼る方法では続かないし、限界がある。
- 運行の定時性や継続性を考えると組織、システム化しないといけない。
- 地域住民が運転手を担うとしても、それに乗車する者との信頼関係や人間関係が構築できていないと乗車することに抵抗感が出るのではないか。
- 個人的には光が丘地区の方を呼んで話を聞いてみたい。

**【B班】**

- 田名地区ではタクシーで移動するほどの距離はなく、当てはまる事例は少ないと思う。ただ、坂が多く、高齢化して歩くことが大変になると、直ちに日常の買い物に支障が出る。行くことはできても帰りに休み休みになっている人がいる。どこかで人助けをしていく必要がある。移動販売などと並行してやらないといけないのかもしれない。
- 他地区事例では社会福祉法人の車両を使っていることが多く、事故が発生した場合の対応が課題だと思う。
- スーパーの配達サービスは金額制限があったりして使いづらいと感じる者もいると思う。
- 田名テラス自治会などは高齢化してきており、移動に不便を感じている者はいる。高齢者には小さな坂が堪える。何か一度試しにやってみた方が良い。
- 日用品の買い物は訪問（移動）販売が適しているのではないか。
- 通院は人によって行先や予約時間、薬局などで要する時間も異なるので、乗合で行こうとしても予定が合わないのではないか。
- 地域住民が運転手を担うと、年齢は70歳台になると思われる。75歳くらいまでは働く者もいるので運転手を確保するのは難しい。
- 他地区事例の月2回の買い物支援では効果があるのか疑問である。
- 地域住民の運転では継続性に課題がある。
- 田名では地形的に坂を上がらなければならないところがあるので小さな車を所有して移動すると良い。また、近隣同士で買い物の助け合いもできるかもしれないと感じた。

○滝地域は通院と買い物が不便。今は車を運転できるが、5年先10年先には通院、買い物にタクシーを利用するのだろうか。バス便は水郷田名まで歩いて行く必要があり、交通の不便さを感じている。

○移動支援の運転手はとても荷が重いことなので、担い手を確保するのは難しいと思うが、切羽詰まっているので何かあると良い。

○ボランティアでやると言っても若い人は働いており、継続しないのではないか。

○バス便の本数が少なく、あてにならない。免許証はいずれ返納になる。近所同士で助け合うとともに、買い物は配達してくれる業者に頼む、1週間分の献立を届けてくれるようなものを利用する等、高齢者も賢くならないといけない。

#### (4) その他

◎今年度のまちづくりを考える懇談会の日程を令和6年1月16日（火）18時開始で調整しており、会議進捗を踏まえて役員会で内容等を検討する。

■次回会議は、10月17日（火）19時からとする。

#### 4 閉会（花房副会長）

以 上

令和5年度 第4回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和5年9月12日

	団体名	団体役職	氏名	備考	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	代田 修	会長	○
2		副会長	花房 博文	副会長	○
3		副会長	安部 和博	理事	○
4	田名自治会連合婦人会	副会長	藤橋 和代		○
5	田名公民館	館長	大谷 政道	副会長	○
6	田名地区社会福祉協議会	会長	田所 恒男	理事	○
7	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	田所 直久	理事	○
8		民生委員児童委員	神澤 優子		
9	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓		○
10	田名地区公共交通整備促進協議会	顧問	志村 勝美		
11	田名地区防犯協会	会長	大谷 靖臣		○
12	田名地区青少年健全育成協議会	副会長	木下 英雄		○
13	田名小学校PTA	会長	平井 佑介		○
14	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二		○
15	J A相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	大谷 京子		○
16	田名地区ボランティアグループ	代表（市食生活改善推進団体）	浅見 泰子		
17	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代		○
18	有識者				

出席（○） 14

欠席（ ） 3

合計 17